

## 派遣労働者の使い捨てはやめろ！ 派遣法の抜本改正をめざす12.4日比谷集会

12月4日、日比谷野外音楽堂で「派遣法の抜本改正をめざす12.4日比谷集会」が2000名を超える派遣労働者や労働組合が結集して開催され、JR東海労から10名が参加してきました。

集会では、自動車や電気などの企業が景気悪化を理由にして大量の派遣労働者を解雇していることへの怒りの報告と、「労働者の使い捨て、人間を使い捨てる」極めて非人間的な労働派遣法の抜本改正を求め闘っていくことが確認され、集会後国会請願デモを行いました。



**派遣社員はモノじゃない**

**法改正訴え**

**野音に2000人**

日比谷

景気悪化を理由に派遣労働者の大量解雇が社会問題化する中、労働者派遣法の抜本改正を求める集会が四日夜、東京都千代田区の日比谷野外音楽堂で開かれ、派遣労働者や労働組合員ら約二千人が集まった。

自動車や電機などの工場で働きながら契約を途中解除された労働者らが、壇上で「派遣社員はモノじゃない。殺すな」というプラカードを掲げ、「寮から追い出さないで」「仕

事を保障してほしい」と訴えた。

政府の派遣法改正案は、仕事のあるときにしか派遣会社が雇用契約を結ばない「登録型派遣」を認めており、労働者側は「不安定、低賃金労働は解消されず、一方的な『派遣切り』を招く」と反対している。

長野県内の半導体工場に働く派遣社員の男性(30)は、数日前に今月いっぱいでの契約解除を派遣会社から告げられた。寮暮らしのた

め、失業すれば住む場所も失つ。景気悪化で仕事はなく、路上生活者になるしかない。法改正で少しでも派遣の現状を変えてほしい」と不安そうに話した。

社会的弱者・貧困層が見捨てられる社会を築くぞう！